

平成30年（2018年）4月2日

山形大学における学士課程教育の質保証 ～第2回基盤力テストによる学習達成度評価～

【本件のポイント】

- 山形大学は平成30年4月に1・2年生を対象に、第2回基盤力テストを実施
- 基盤力テストは、全学的な規模でスマートフォンを通じて学生の能力を直接的に測定する、世界でも類を見ない先進的な試み
- テスト結果は学生の振り返りや、本学の1年次教育の成果・課題の分析のために活用



【概要】

山形大学では、平成30年4月3～6日に1・2年生を対象として、第2回基盤力テストを実施します。基盤力テストの目的は学生の学習達成度、および学士課程教育の効果を可視化し、教育の質保証に資することです。基盤力テストは、スマートフォンを通じた全学的なテストであること、および学生の能力を直接的に測定することにおいて、世界でも類を見ない先進的な試みです。第2回テスト結果は学生に即時に表示され、学生に省察を促します。またテスト結果は、本学の1年次教育の成果と課題を見出すために活用されます。

【背景・目的】

これまで学習者の人間力などを評価する方法は、学生による自己評価アンケートなど間接的な評価方法が中心であり、直接的な方法はあまり見られませんでした。このような方法では、いま強く要請されている教育の質保証に十分対応できないという問題があります。そこで山形大学は、全学的な共通テスト（基盤力テスト）によって学生の能力を直接的に測定し、学生の学習達成度および学士課程教育の効果を可視化することを進めています¹。

【実施内容】

基盤力テストの構成および実施科目等は以下の通りです。

- ・ 学問基盤力テスト：論理的文章理解、数学、物理、化学、生物（各科目5問程度）
- ・ 実践地域基盤力テスト：主要5因子性格調査、大学生生活困りごと調査（1年生のみ対象）
- ・ 国際基盤力テスト：TOEIC-IP、各種資格試験、留学等国际経験

学問基盤力テストおよび実践地域基盤力テストでは、実施の効率化を図るため、コンピュータ適応型テスト^{*}を採用しています。学生はスマートフォンのアプリ（YU Portal、ワイユーポータル）を通じ、所要30分程度でテストを受けます。テストは入学時、2年始業時、3年次等に実施され、学生に3年間での学びの達成度に基づいた省察を促します。テスト結果は保護者などステークホルダーにも提示され、学生のキャリア形成に資するようにします。本学は基盤力テストの結果を用いて、学士課程教育の効果を評価検証し改善します。

【テスト結果から明らかにすること】

- ・ 第1回テスト（平成29年4月実施）結果と第2回テスト結果を比較し、本学の1年次教育の成果と課題を見出します。
- ・ 能力が大幅に向上した学生の履修歴や学習習慣などを分析し、学習成果の高まりやすい学習パターンを見出します。

※用語解説

コンピュータ適応型テスト：受験者の回答に応じて出題される設問が変わるコンピュータ利用型テストのこと。

お問い合わせ 学術研究院准教授（基盤共通教育） 安田 淳一郎
TEL 023-628-4030

¹ 基盤力テストは、文部科学省「大学教育再生加速プログラム」の補助を受けています。詳細は以下のサイトでご確認いただけます。
<https://ir.yamagata-u.ac.jp/about-ap-project/>